

日時
2015年
3月14日
(土)

教授・学習研究への新たな挑戦

理論と実践

セッションⅠ：協同と学習方略

9:00-9:10 開会挨拶 市川伸一(東京大学)

9:10-12:10

「協同的な学びにおける学習方略」

植阪友理(東京大学)・藤澤伸介(跡見学園大学)

「学習とコミュニケーションにおける図表」

Emmanuel Manalo(京都大学)

「授業で効果的な覚え方を学ぶ」

瀬尾美紀子(日本女子大学)

「授業中の質問生成方略」

小山義徳(千葉大学)

※各セッション毎に、1時間程フロアも含めた討論の時間を設けます

会場

東京大学 本郷キャンパス
赤門総合研究棟 200番教室

申込
方法

お申込URL: <http://www.schoolexcellence.p.u-tokyo.ac.jp/event/438/>

(右QRコードからアクセスできます)※会場の都合により、定員を70名とさせていただきますのでご了承ください。

ご挨拶:世界的な動向として、学校では学問の基礎を学ぶだけでなく、社会で学び続けるための資質・能力を身につけるという考え方が広まりつつあります。こうした中、本シンポジウムでは、効果的な学び方にかかわる研究知見や、失敗を教育に生かすための研究を、基礎と実践の両面から取り上げます。皆様のご参加を心待ちにしております。

セッションⅡ：学習者と教師の失敗活用

1:20-4:20

「学習者のつまづきを授業設計に生かす」

深谷達史(群馬大学)

「教師は授業の失敗をどう改善するか」

市川伸一(東京大学)・篠ヶ谷圭太(日本大学)

「失敗場面における親のかかわり」

鈴木雅之(国立情報学研究所)

「学習場面における失敗観尺度の開発」

西村多久磨(東京大学)

4:30-5:30 総合討論

閉会挨拶 Emmanuel Manalo

終了後1時間程度の茶話会(無料)がございます。

共催:「失敗を教育に活かす」(科研費基盤B, 代表:東京大学、市川伸一)
「学習方略の自発的利用促進メカニズムの解明と学校教育への展開」
(科研費基盤B, 代表:京都大学、Emmanuel Manalo)

後援:東京大学大学院学校教育高度化センター

